

人郷夢

ストーリー

Vol.8

このコーナーでは、まちづくりなどの活動に取り組んでいる市民の方やグループにお話を伺い、活動内容や活動にかける思いをシリーズで紹介していきます。

都路町古道の新町地区の女性を中心となって、さまざまな活動をしているグループがあります。「愛都路の会」です。加藤リツ子さん、今泉富代さんに、活動への思いを伺いました。

地域のために

平成の初めごろ、都路村(当時)で開催されていたマラソン大会で、古道新町地区の女性を中心となって、温かいものを振る舞いました。それが「愛都路の会」の始まりです。その後、灯まつりなどのイベントの折に、とん汁やかき氷、山菜おこわなどを振る舞ったり、お年寄りへの食事やお弁当

を提供したりする活動をしてきました。

平成23年3月の東日本大震災の発生時は、原発事故によって自宅への行き来が困難となった20km圏内のお年寄りがどうしているか心配でした。そこで、船引町の福祉の森公園応急仮設住宅の集会所をお借りして、避難されたお年寄りたちと

▼古道小学校5年生と「だんごさし」づくりでふれあい (1/14)



愛都路の会 加藤リツ子さん(都路町古道、後列左から2人目)と今泉富代さん(都路町古道、後列左)

つるし雛…江戸時代後期から伝わる静岡県伊豆稲取地方の風習として、子どもや孫の無事な成長や幸せを願って作られてきたもの。思い出の和布で母や祖母が縫いあげてできたつるし飾りは、一つ一つに意味がある縁起物。近年は県内各地で毎年2月から3月にかけて「雛めぐり」が開催されている。

よりあい処 華…古民家を活用したコミュニティスペース。月・水・金のお昼どきには旬のものをふんだんに使った「おまかせランチ」のほか、ご当地グルメ「たむら八彩カレー」などの食事も提供している。

「つるし雛」の作成に取り組みました。平成25年と26年の3月には、船引町で開催された栄町つるし雛まつりへ「みやびなの会」として展示しました。参加者からは「つるし雛づくりができて本当に良かった。生きる希望が湧いて救われた」との感想をいただきました。

「よりあい処」

避難指示が解除されて都路へ戻った時に、集まるどころがあったらいいなという声を聞きました。そこで、使われなくなった空き家を借り受け、日本大学工学部の学生や田村市復興応援隊、ボランティアの力を借りて、「よりあい処 華」を平成26年6月に開きました。コミュニティスペースとして地域のお年寄りに活用され、応急仮設住宅から帰還した後も引き続き「つるし雛」の作成を継続するなど、心のよりあい処となつていきます。また、地域のお年寄りが、都会から移住してきた方からマスコット「みゃーこちゃん」の手芸を教わりました。



▲「みゃーこちゃん」づくり



きゅうりジャム▶



▲「よりあい処 華」で子どもたちと

今では販売もしていて、お年寄りたちに喜ばれ、やる気を引き出しています。

「ばあば」と子どもたち

会の「ばあば」たちと古道小学校の子どもたちは、「みゃーこちゃん」や「九猿(こざる)」などの手芸体験、「だんごさし」などの伝統行事、「どくぞく」(※)「インゲン」のじゅうねん和え」などの郷土料理づくりや学校農園での野菜づくりなどの体験を通して交流しています。平成27年9月には、子どもたちの発案で「きゅうりジャム」や「いか人参キュウリ」

といったメニューを開発しました。好評なものは商品化したと、「ばあば」たちは意気込んでいます。

※九猿…「苦」が「去る」ことから、縁起物として人形・オブジェ・絵画などで取り上げられる。

※どくぞく…会津・中通りの郷土料理。その名のおり、どくぞくと大きめに切った具材を煮たもの。

取材を終えて

平成16年に起こった中越地震の被災地である新潟県旧山古志村を昨年12月に視察研修するなど、精力的に活動する愛都路の会の皆さん。「私たちは、メトロ」ですが、地下鉄会社ではありません。地下組織でもありません。縁の下の力持ちになりたいと思ひ、私たちの地域「都路」を「愛」する意味で「愛都路の会」と名

【声】 古道小学校長 根内喜代重さん



子どもたちと愛都路の会の皆さんとの交流は、田村市が進める「地域で育てる」教育の具体的な取り組みの一つです。子どもたちは学が楽しさを味わいながら、考える力や判断力、表現力などの確かな学力をつけるともに、地域で暮らす人々の思いや願いを感じ取りながら、郷土愛や家族愛、思いやりなどの豊かな心を育てています。「都路」という自分の居場所に自信と誇りが持てる子どもたちを育てていただいております。心から感謝しています。

「付けたんですよ」と冗談交じりに語ってくれました。会員も毎年歳を重ねているので、ぜひ若い世代に参加してもらいたいとのこと。後世に活動を引き継ぐことを考えながらも、いつまでも「都路」の名前を残していきたいと、やさしく微笑んでいたのが印象的でした。

(協働まちづくり課)